

令和4年度

はじめに...

新型コロナウイルス感染症に伴い、令和2年度から行われております議会報告会の動画配信は、今年で3年目となります。過去2回の実績から、多くの年齢層の方にご覧いただいております。再生回数は減少したものの、270回を超え、アンケートも45人の方に回答いただきました。貴重なご意見もいただいております。そのご意見を参考に、分かりやすく、見やすい動画配信に努めています。

また、対面形式の議会報告会も重要とのことから、準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染者が増加している状況から、今年も中止にすることといたしました。

議会報告会では、1年間の議会の動きと、2つの常任委員会からの報告をお伝えしています。是非、動画配信とあわせてご覧いただきたいと思っております。

令和4年度議会報告会資料目次

はじめに	15分
議会の動き	15分
総務経済常任委員会報告	17分
文教民生常任委員会報告	19分
広聴委員会から(動画QRコード)	16分
アンケートと案内	中面綴じ込み

横書き構成ですが、ページ数は議会だよりのものです

この議会報告会では昨年(令和4年1月~12月)の議会の活動をお知らせします。

議会の動き

議会運営委員会

委員長 成川保美	委員 古宮祐二
副委員長 原憲三	委員 加藤久美
委員 石渡正次	委員 峯尾進

令和4年3月議会 主な審議内容

令和4年3月定例会

- ・令和4年度予算審議
(総額71億6千万円、うち一般会計41億3千万円)
(町内4カ所バス停駐輪場整備、比奈窪公衆トイレ、中央公園多目的広場芝生化等)
- ・条例改正6件(消防団条例の改正他)
- ・補正予算(令和3年度一般会計補正他)
(コロナの影響により、事業の中止等による繰出の減額補正等)
- ・議員発議「ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議」
(賛成全員で可決)

令和4年度の予算審議

総額71億6千万円となり、一般会計予算41億3千万円が認定(主な新規事業:町内4カ所バス停駐輪場整備、比奈窪公衆トイレ、中央公園多目的広場芝生化等)

主な条例改正

●消防団条例の一部改正

入団適齢者人口の減で将来的に新たな入団者を確保することが困難と見込まれることから、民法改正による成年年齢引き下げに伴い入団者の年齢要件を引き下げました。(20歳 → 18歳)

議員発議による決議

●「ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議をする決議」

令和4年3月議会で、人命と平和な暮らしが奪われる事態を断じて看過できないと、本議会は、ロシアのウクライナからの即時完全撤退をすること。あわせて我が国を含む関係国政府においては、一日も早い平和解決に向けた外交努力を行うことを強く求め、決議した。

令和4年6月議会 主な審議内容

令和4年6月定例会

- ・条例改正3件
(議会議員及び町長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例改正、国民健康保険税条例改正他)
- ・補正予算(令和4年度一般会計補正予算他)
(コロナ影響による低所得者の子育て世帯生活支援特別給付金の支給、水道基本料金4か月分免除、小中学校に空気清浄機の購入)

議 会 報 告 会

主な条例改正

● 議会議員及び町長選挙における選挙運動費の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法の一部改正に伴い、選挙公営費用の上限額の見直し

自動車借り上げ 15,800円 → 16,100円

燃料代 7,560円 → 7,700円

選挙運動用ビラの作成公費負担
7円51銭 → 7円73銭

町議選挙 7.73円×1,600枚=1万2,368円

町長選挙 7.73円×5,000枚=3万8,650円

(供託金額15万円が必要となりました。)

● 中井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い課税限度額の引き上げ

基礎課税分 63万円 → 65万円

後期高齢者支援金等課税分 19万円 → 20万円

令和 4 年 9 月 議 会 主 な 審 議 内 容

令和 4 年 9 月 定 例 会

- ・ 令和 3 年度一般会計決算を認定
(国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、下水道事業会計、水道事業会計の5会計についても認定)
(歳入) 46億5千万円 (歳出) 42億7千万円
- ・ 補正予算 令和 4 年度一般会計補正予算 (第 2 号)
1 億 62 万円の追加 (賛成 6、反対 3)
(コロナ影響や物価高騰により、18歳以下と86歳以上に地域通貨を給付)
- ・ 議員発議
「女性差別撤廃条約選択議定書の批准を早急に求める意見書」の提出 (賛成 6、反対 4)

主な補正予算

● 令和 4 年度一般会計補正予算 (第 2 号)

1 億 62 万円の追加計上

- ・ 地域通貨を給付 (45,000千円)
- ・ コロナワクチン接種関係 (38,000千円)
- ・ その他 賛成 6・反対 3 で可決

意見書

● 「女性差別撤廃条約選択議定書の批准を早急に求める意見書」の提出

令和 4 年 9 月議会で、選択議定書の批准を求めることにより、個人通報制度により、国連女性差別撤廃委員会に訴えることができ、日本の裁判所が女性差別撤廃条約を裁判に適用するようになるとの議員発議があり、6 対 4 で可決し、国に意見書を提出。

令和 4 年 12 月 議 会 主 な 審 議 内 容

令和 4 年 12 月 定 例 会

- ・ 条例制定 2 件
(個人情報の保護に関する法律施行条例、情報公開・個人情報保護審査会条例)
- ・ 条例改正 4 件
(職員の定年等に関する条例等の一部改正他 3 件)
- ・ 補正予算 4 件

主な条例制定

● 個人情報の保護に関する法律施行条例

「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」による個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、町の個人情報保護条例の規定を廃止し、所要の規定を定める条例制定。

主な条例改正

● 職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例

地方公務員法の一部を改正する法律の施行等に伴い、職員の定年を引き上げるとともに、管理監督職務勤務上限年齢制や定年前再任用短時間勤務を導入。

令和 5 年度から段階的に引き上げる。60 歳に達した翌年度から 7 割水準の給与支給。

● 都市公園条例の一部を改正する条例

中央公園内のグラウンドの南側の一部芝生化に伴う使用料の改正 (令和 5 年 4 月 1 日より適用)

1 時間当たりの使用料

区 分	町内団体	町外団体
社会人・大学生	3,250円	6,500円
高校生	1,950円	3,900円
小・中学生	1,200円	2,600円
運動競技会その他 これに類するもの	10,000円	

令和 4 年度

コロナ対応に関する予算 206,138千円

国の支援を可で具体化した事業	106,108千円
中小事業振興融資の拡充	11,340千円
水道料金減免の実施	10,820千円
地域公共交通運行継続等支援事業	688千円
公共施設等の感染症対策の徹底	27,428千円
感染症拡大防止に向けた取組の強化	3,009千円
家計・事業者支援対策地域通貨配付事業	45,440千円
新型コロナウイルス感染の自宅療養者支援	709千円
感染拡大に向けた取組の強化	557千円
その他 (アフターコロナを見据えた対策等)	6,117千円
国の感染症対策に伴う事業	100,310千円
新型コロナウイルスワクチン接種体制整備	50,545千円
子育て世帯への臨時特別給付金事業	4,944千円
新型コロナウイルスワクチン接種体制整備	44,542千円

令和4年度

常任委員会からの報告

- 議会では、専門的な審査が行えるよう、町の仕事を2つに分け、**2つの常任委員会**が担当しています。議案や請願、陳情の審査を付託される他にも、それぞれの所管事項を調査研究しています。
- 議会中に付議された案件は閉会中に審査することも可能です。
- 議員は少なくとも1つの常任委員会に所属しなければなりません。

総務経済常任委員会報告

総務経済常任委員会

委員長 古宮 祐二 委員 尾尻 孝和
副委員長 原 憲三 委員 成川 保美
委員 井上 泰弘

所管事項…企画課、総務課、環境上下水道課、産業振興課、まち整備課、会計事務、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び議会事務局に関する事項並びに文教民生常任委員会の所管に属しない事項

所管事務調査研究

今後の交通システムについて

(令和3年6月～)

【調査研究理由】

- 少子高齢化の進展
➡ 地域公共交通の検討
- オンデマンドバスの更新 ➡ 提言を行う。
- 本町が抱える移動の課題
➡ 公共交通システム全体を検討していく。

【これまでの調査内容】

- 議会ではオンデマンドバスの運行開始直後から、公共交通を取り上げており、その都度提言を行ってきた。
- 特にオンデマンドバスが町内限定となった後、地域からの要望を受け、平成30年12月議会でオンデマンドバスの日赤乗り入れ等の決議を提出、地域公共交通会議の決定を経て、翌年度から日赤乗り入れが始まっている。

【現状と課題】

- 実証運行開始して、本年で10年
➡ 車両更新も視野に、今後の方向性を令和4年度中に定め、令和5年度から新たな段階に入る。
- オンデマンドバスの他、福祉有償運送
➡ 高齢者・障がい者の交通手段
- 路線バスの減便、高齢者の免許証返納者の増加、保護者の児童生徒の送迎負担などの課題があり、オンデマンドバスの需要大
- また、町内に鉄道駅がないため、駅への移動に対する要望も多い。

【令和4年度の委員会での協議】

- ① 自宅前降車方式の実証運行
(令和4年10月～)
- 帰宅時のみ、希望降車ポイントで降りられる方式。
- 対象者：デマンドに実績のある65歳以上の利用者と妊産婦。
- バス更新時に小型化を要望する。
- 予約システムの利便性の向上を目指す。



議会報告会



②路線バスのフィーダーバスとして位置付ける

- 休憩所を2カ所設置（原のバス停所、役場入口）
→ 路線バスを待つ間のくつろぎの場とする。
- 休憩所にトイレを設置、風雨対策を施し、乗り継ぎ場所が町のシンボルとなるようにする。

- オンデマンドバスから路線バスに乗り継ぐ場合の、料金の割引を検討。

※フィーダーバス：交通網において幹線と接続し、支線の役割をもって運行されるその路線。

③循環型への一部導入の検討

定時路線型運行

（曜日、地区、時間を決め、予約なしでオンデマンドバスを巡回させ、町内スーパー等への買い物を可能とする。）

④乗り合いデマンドタクシーへの転換の検討

ドアツードアの実現

（自宅から目的地さらに自宅へ）

⑤自家用有償運送の検討

NPOや地元協議会が行う自家用有償旅客運送の規制が緩和されつつあることから、他の市町の事例を参考に新たな公共交通としての可能性を追求していく。

行政視察受入

令和4年10月28日付、滋賀県高島市議会産業建設常任委員会で、本町のオンデマンドバス事業の取り組みについて視察にられました。（議長、総務経済常任委員長が出席）



議会広聴委員会から

動画配信サービスを活用しての議会報告会はいかがでしたでしょうか？
ぜひアンケートで、ご意見ご感想をお寄せ下さい。

今後の参考にするとともに、回答が必要なものは改めて議会だよりやホームページで回答します。右のQRコードからネットによる回答も可能です。よろしくお願ひします。

なお、ネット環境等で動画をご覧いただけない場合、DVDを貸し出しますので、議会事務局までご連絡ください。（電話 0465-81-3905）



アンケート

議会広聴委員会

委員長 尾尻孝和
副委員長 加藤久美

委員 峯尾進
委員 井上泰弘

委員 森文嘉
委員 原憲三

文教民生常任委員会報告

文教民生常任委員会

委員長 石渡 正次 委員 峯尾 進
副委員長 加藤 久美 委員 森 丈嘉
委員 多田 勲 委員 岸 光男

所管事項…地域防災課、税務市民課、福祉課、健康課及び教育委員会に関する事項

陳情第1号

「消費税インボイス制度の適用除外者の拡大を求める」

- シルバー人材センター理事長より議会議長に提出される。(令和4年6月30日)
- 8月31日の本会議で文教民生常任委員会に付託された後、委員会で審査をする。(令和4年9月2日)

インボイス制度 (適格請求書等保存方式)

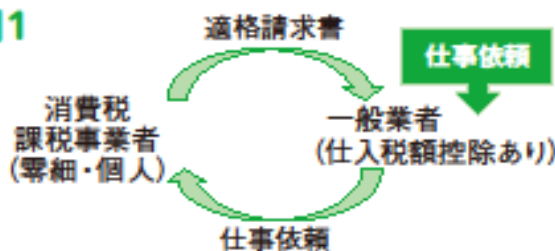
これまで



課税売上高が1,000万円以下であれば消費税の納税は免除。

インボイス制度が導入されると

例1



※相手事業者(一般業者)が消費税の仕入税額控除を受けるには登録事業者の発行する適格請求書が必要。

例2



令和4年度

インボイス制度

これまで基準期間の課税売上高が1000万円以下であれば消費税の納税は免除されていたが、インボイス制度の登録事業者になれば売上高に関わらず納税義務が発生する。

一方、消費税の仕入税額控除を受けるためには、登録事業者の発行する適格者請求書が必要となる。

※基準期間の課税売上高

基準期間とは、課税対象となる売上が2年前の期間を指します。仮に、2021年の1年を遡って、課税売上高1000万円を超えた場合には、2年後の2023年から課税事業者となる。

【審査内容】

- そのまま適用すると、高齢者のやる気や生きがいを削ぎ地域社会の活力低下をもたらす懸念がある。
- 中小零細事業者これ以上に負担を課すことは、コロナ禍からの経済再生を阻害することにつながる。

【結果】

- ◎ 陳情を「採択」することに決定し、国(関係機関)に意見書を提出。

所管事務調査研究

①「地域集会施設の現状と今後について」

- ※ 総務省の要請を受け「中井町公共施設長寿命化計画」を策定する。
- 地域の心のよりどころである主要な施設の廃止が見込まれている。
廃止予定の3施設(中村下会館、井ノ口上会館、井ノ口下会館)
- 中村下会館の視察を行い担当課より説明を受ける。(令和4年3月4日)
- 7回の常任委員会を開催し協議を重ねる(令和4年 5月～9月)

議会報告会



中村下会館の視察

【協議内容】

- 施設の現状、住民の声、生じている課題を受け止め、将来を見据えた住民のための施設利用を推進すべきである。
- 中村下会館は、
 <様々な拠点となる新たな建物の設置をしていく>
 地域の中核となる施設
 住民と共に創りこれからのモデルとなる施設
 新たなネットワーク形成の中心となる施設
 地域コミュニティーを拡げていく施設
- 井ノ口上、井ノ口下会館は、
 <様々な住民の活動ができる有意義な施設の検討をしていく>

【結果】

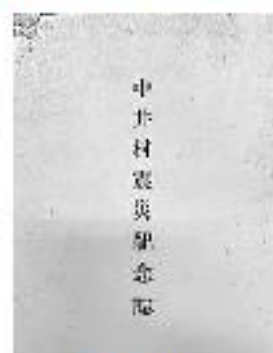
- ◎それぞれの会館の結論と共に、住民の声が十分に反映できるような方法や場を設けるよう決議として町に提出する。

③「健康・体力づくりステーション事業の現状について」

- 健康・体力づくりステーション事業施設の視察を行い、担当課より説明を受ける。
 (令和4年12月9日)
- 現在、継続審査中である。

②「中井町震災記念誌の再発刊を求める」

- 関東大震災の記録「中井村震災記念誌」を発行する。(大正14年2月10日)
- 埋もれていた記念誌が個人宅から発見された後、再発刊をすることが望ましいか否かを常任委員会で協議をする。
 (令和4年7月～9月)



震災紀年誌

【協議内容】

- 「この教訓、この苦しみを後世に伝え、中井村のために役立てたい」という当時の人々の心情を大切にしたい。
- 予想されている巨大地震に対する減災・防災に役立つようにしていく。
- 将来を担う子どもたちの学びに繋がる大切な資料とする。

【結果】

- ◎大切な資料として残していかなければならないという考えから、決議として町に提出する。



健康・体力づくりステーションの視察